

(科目コード : 1100620003JJ)

【改訂】第31版(2013-03-20)

【科目】国語講読

【科目分類】一般科目 【選択・必修の別】必修

【学期・単位数】通年・2単位

【対象学科・専攻】電子情報 3年

【担当教員】前期：植田 麦
後期：植田 麦

【授業目標】

- (1) 論説文の精確な読解を通じて認識力・思考力を伸ばすとともに、現在さまざまに話題となっている現代の諸相や社会現象を追及し、一般教養を身につける。
- (2) レポートを書くときに必要な表現技術や、発表をするときに必要なスピーチの技術を身につける。
- (3) 批評の方法を身につける。
文章を的確に読むことが出来る。

【教育方針・授業概要】

前期は、芥川龍之介の短編小説を読解演習する。
後期は、科学思想や日本文化論等の論説文読解を通じて、現代社会や文化の諸相を追究する。また、それらの批評を通じて文章執筆の技術を身につける。
中間試験を除く毎回の授業において、漢字テストを行う。

【教科書・教材・参考書等】

教科書：羅生門 蜘蛛の糸 杜子春 外十八篇：芥川龍之介：文藝春秋：978-4-16-711305-6
教科書：常用漢字フォルダ
その他、授業担当者がプリント教材を配布する。

【授業形式・視聴覚・機器等の活用】

視聴覚教材：授業の進捗に応じて使用する場合がある。

【メッセージ】

この授業では、「読むこと」と「書くこと」の両方を鍛えます。

【成績評価方法】

[前期]中間試験：40%，期末試験：40%，漢字テスト(10%)、課題・提出物(10%)
[後期]中間試験：40%，レポート：40%，漢字テスト(10%)、課題・提出物(10%)

【授業計画】(国語講読)

回数	授業の主題	内容	レポート	宿題
1	授業概要	授業の目的と意義を説明する。また、授業に臨むにあたって準備すべきことを指示する。		
2-7	芥川龍之介「秋」「芋粥」	芥川龍之介の短編小説を読み、心理描写の巧みさを学ぶとともに、文章を鑑賞する方法を学ぶ。		
8	中間試験			
9-15	芥川龍之介「六の宮の姫君」「鼻」	芥川龍之介の短編小説を読み、心理描写の巧みさを学ぶとともに、文章を鑑賞する方法を学ぶ。		
16-22	論説文読解	人文科学・自然科学に関する論説文を読み、「論」がいかにか構成されているのかを学ぶ。その上で、受講者自身が「論」じる際の心得を身につける。		
23	中間試験			
24-25	論文の構成	「論」をたてる際の基本的構成について学ぶ。		
26-27	文章の執筆	文章を書く際に気をつけるべき事柄について学ぶ。		
28-30	論文の執筆	テーマを選択し、問題点の提示・論の展開を意識して論文を執筆する。		